

福祉コラム

ヘルプマーク・ヘルプカードをご存知ですか？

広島県では、障害のある方を支える「あいサポート運動」の取り組みとして、平成29年9月8日(金)よりヘルプマーク・ヘルプカードの無償配布が開始されました。

ヘルプマークとは、内部障害や難病の方など配慮や援助を必要としていることを外見からは気づかれにくい方々が、マークを身につけることによって周囲に配慮を必要としていることを知らせるため作成されたマークです。

ヘルプカード(左下図参照)とは、障害のある方などが災害や緊急時、また日常生活で困ったことが起きた際に提示し、緊急連絡先や必要とする支援内容を周囲の方へ伝えるために作成されたカードです。

尾道市では、尾道市役所社会福祉課、向島支所しまおこし課等、計5か所で無料配布されています。当事者・関係者だけではなく多くの方々が日ごろからマーク・カードの意味や意図を理解し、必要時には有効に活用できるよう、普及促進が取り組まれています。

参考:広島県ホームページ、尾道市ホームページ



行事報告

- 1月
  - 4日 レク「初詣」(瑠璃寮)
- 2月
  - 1日 やまと節分交流会(やまと)
  - 14日 レク「バレンタイン」(ヴィータ)
- 3月
  - 7日 レク「八天堂&広島空港へ行こう」(ヴィータ)
  - 14日 青山病院交流会参加(瑠璃寮、センターるり、やまと、ヴィータ)
  - 22日 誕生日会(ヴィータ)

行事予定

- 4月
  - 未定 花見(やまと、ヴィータ)
- 5月
  - 未定 精神保健福祉ボランティアコスモス BBQ(やまと、瑠璃寮、支援センターるり、希望の家、ヴィータ、瑠璃の屋形)



感謝の気持ち

- 1月 [物品寄贈] 匿名希望様、匿名希望様
- 2月 [物品寄贈] 匿名希望様、匿名希望様、橋本周治様
- 3月 [物品寄贈] 匿名希望様



お問い合わせ先

社会福祉法人 尾道のぞみ会 (HP: <http://www.o-nozomi.or.jp/>)

- ・瑠璃の屋形(就労移行支援・就労継続支援B型) 広島県尾道市久保町 92-2 ☎(0848)37-6040
- ・瑠璃寮(生活訓練:宿泊型、通所型、訪問型・短期入所) 広島県尾道市久保町 1714-1 ☎(0848)20-7676
- ・地域生活支援センターるり(地域活動支援センター・指定特定、指定一般相談支援) 広島県尾道市天満町 2-10 ☎(0848)38-7151
- ・希望の家(共同生活援助) 瑠璃寮内
- ・やまと(就労継続支援B型) 広島県尾道市御調町大山田 1139-2 ☎(0848)76-2356
- ・ヴィータ(指定特定相談支援・生活訓練:通所型、訪問型・就労継続支援B型) 広島県尾道市因島重井町岩 5276-17 2階 ☎(0845)26-2580

瑠璃だより



発行:社会福祉法人尾道のぞみ会 2018年3月26日発行 〒722-0042 広島県尾道市久保町92-2

新年度のご挨拶

厳しかった寒さも和らぎ、桜の便りも聞こえ、生命の躍動を感じる季節になりました。私たちは障がいのある方々が自立した暮らしを手に入れることのみならず、少しでも多くの幸せを感じられる生活を送れるよう、日々支援を行っております。その「ひと」自身を捉え、ともに目標に向かって歩いていくことが大切であると考えております。

これまで福祉サービスにつながっていない方々への支援を行ってまいりましたが、平成30年度はそういった方々への支援により力を入れ、それぞれのニーズに応じていくことを目指します。皆様方には、引き続き尾道のぞみ会の活動のご理解とご協力を切にお願い致します。

社会福祉法人尾道のぞみ会 理事長 高垣孔幸

ヴィータ

レクリエーションについて

3月7日のレクリエーションにて、くりーむパンで有名な八天堂さんが出店されている『八天堂カフェリエ』と広島空港へ行きました。八天堂カフェリエは、カフェ・ショップ・工場・体験工房がひとつになっている施設です。今回は工場見学とパン作り体験の二手に分かれて楽しみました。

工場見学では、帽子・つなぎを身につけてエアシャワーを通過した後、製造ラインの見学をしました。メンバーさんからは、「宇宙服みたい!」「(エアシャワーに)びっくりした!」と感想がありました。工場内は甘い香りが広がっており、たくさんのくりーむパンが手作りで作られていました。見学の最後には1人1つずつ出来たのくりーむパンをいただきました。見学後には、「階段があったり、長い距離を歩いたので、いい運動になった」という感想もありました。



パン作り体験では、自分で生地をこねて好きな形のパンを作りました。チョコレートのペンが用意されており、自分の好きな絵を描くこともできました。30分間のパン作り体験で、小さい子どもから大人まで楽しめるものでした。

昼食はカフェでいただきました。ランチメニューをセットで頼むと、ピュッフェ形式でパンを楽しむことができます。参加者からは「お腹いっぱいになった。」「おいしかった。」と感想がありました。

その後、広島空港に行き、空港内のお店などを見て回りました。通所日の兼ね合いで普段はなかなか会えないメンバー同士も楽しく交流ができた1日でした。

瑠璃の屋形

利用者インタビュー

陽春の候、いかがお過ごしでしょうか？今回の記事は、瑠璃の屋形の利用者さんへのインタビュー第2弾です。みなさんに瑠璃の屋形の仕事についてもっと知っていただく為に、実際に利用されている方からお話を聞いてみました。以前、直売市と軽作業部を紹介させていただいたので、今回はパン部と惣菜部の方からお話を伺いました。

<パン部Aさん>



仕事内容:

「パンを袋に詰めたり、お店に並べにいたり、パンを販売先別に仕分けしたりしています。他にも生地を分割、丸める作業、成形(あんこ等をパン生地で包む)などもしています。また、値段のシールをパンの袋に貼ったりもしています。」



作業の中でしんどいことや難しいこと:

「前日遅くまで起きていて仕事中に眠い時があります。でも、パン職人になりたいと思っているから頑張っています。デニッシュ生地が作れるようになりたいので練習中です。」

瑠璃の屋形の印象:

「パン職人になりたいと思っているから、修業の場！です。あとは年の近い人がいるので冗談を言い合うこともあり、楽しいです。みんなわきあいあいと作業をやっています。」

<惣菜部Bさん>



仕事内容:

「食堂で提供するランチの仕込みをしています。米を洗ったり、人参を切ったり、味噌汁のわかめを水で戻したりしています。その他には、食堂で接客などもしています。それぞれ役割があって、私は食券をもらって、味噌汁を温めて注ぐ係です。」



やりがい:

「ランチを食べに来てくれるお客さんが増えた時が嬉しいです。売れない日もあるけど、明日に向けてまた準備をする作業も大事なので、その繰り返しです。」

作業の中でしんどいことや難しいこと:

「調子が悪い時があって仕事がやりづらい時があります。もう少し体調を整えていけたらいいなと思っています。」

Aさん、Bさんお話しくださりありがとうございました。紙面の都合上、聞いたお話の一部を抜粋させていただきました。瑠璃の屋形の仕事について、少しでもイメージしていただけたでしょうか？ご興味がありましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

職員コーナー



地域生活支援センターるり 桃谷

テーマ:「今はまっていること」

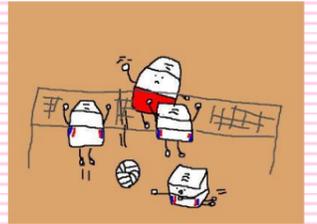
ヴィータ 森川

テーマ:「一週間休みがとれたらしたいこと」



梅の花がちょうど見頃を迎え、春の訪れを感じるようになりましたね。暖かくなったせいか、市内には多くの観光客の姿が見られるようになりました。私もどこか旅に出かけ、リフレッシュしたいと思っていますが、皆さんはいかがでしょう？

さて、久しぶりに職員コーナーに登場しますが、今回は私が今はまっていることについて紹介します。はまっているというか健康のためにやっていることとなりますが、バレーボールをやり始めました。週1回ですが、高校時代の仲間と汗を流しています。でも、若い頃のようにはいかないですね。ジャンプしても、ヤクルトくらいの高さまでしか飛べません。膝も腰もがくがくして、珍プレーばかりしていますが、それだけに笑いが耐えません。汗を流して、大声をだして、みんなで笑う。これがストレス解消になっていると思います。



少しやせて、ペットボトルくらいはジャンプできるようにしたいなあ。

(地域生活支援センターるり 桃谷)

『一週間休みがとれたらしたいこと』…みなさんは、このように尋ねられたらなんて答えられますか？『したいこと』次から次へと浮かんできていますか？



ヴィータの森川は、『一週間』という制約があるばかりに『つい』現実的なことを考えてしまいます。そう、『つい』後回しになっていることを片っ端から集中してやっていきたいかな。もちろん周りを気にせずに!!

でも、夢を語るなら…全国の仲間と会いに行きたいです。自分の運転で気ままに向かっていきたいな。まずは、どこの地域に行こうかな…。そんなワクワクすることを考えているだけで一週間は経ってしまいそうです。

(ヴィータ 森川)

## 瑠璃寮

## 活動の様子

春風が頬に心地よい季節となってまいりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。瑠璃だより春号では、瑠璃寮の通所型生活訓練で取り組んでいるプログラムを一部ピックアップしてご紹介します。

瑠璃寮では月に1~2回、『バス外出プログラム』を実施しています。このプログラムは“バスの利用に慣れる”ことを目的とし、主に尾道駅方面と東尾道駅方面の路線を利用して外出しています。外出先ではスーパーで買い物をしたり図書館を利用したりと、余暇活動の提案も行っています。「バスをほとんど利用したことがない」、「当分利用していないのでいきなり一人で乗って外出するのは不安」と言われていた方でも、繰り返しプログラムに参加することで少しずつ慣れていき、休日にはバスに乗って買い物に行くことができおられます。中には乗ったことのない路線を利用してお一人での通院に挑戦してみる方もおられ、各々がステップアップを図っておられる様子うかがえます。

交通機関の利用や公共の場でのマナーについて知り、慣れることで、利用者一人ひとりの行動範囲ならびに生活の幅が少しでも広がるよう、『バス外出プログラム』に取り組んでおります。

## 福祉車両整備のご報告

瑠璃寮では、社会福祉法人広島県共同募金会様より、平成29年度NHK歳末たすけあい義援金助成事業による助成金の交付を受け、平成30年1月に車両(ダイハツタント)の整備を行いました。こちらの車両は、利用者の送迎及び利用者訪問の支援で活用させていただいております。

社会福祉法人広島県共同募金会様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝申し上げます。

## 希望の家

## 活動の様子

寒さが和らぎ、春の陽ざしが暖かく心地よい毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか。

希望の家では、日本財団様から福祉車両の助成を受け、新しい車両を整備しました。利用者の方が地域で安心して生活し、自立して行けるような支援に役立てたいと思います。



次に、利用者の方の活動報告をします。昨冬は長者原スポーツセンターへ行きました。希望の家では3カ所のグループホームを支援しており、利用者の方から各ホームの利用者との交流希望があったため、合同レクとしてジムで体を動かしてきました。ランニングマシンやバイク、トレーニング機器を思い思いに使用し、気持ちよく汗を流すことができました。

運動後はシャワーを浴び、心も身体もすっきりし、ストレス解消にもなりました。参加者からは「今後もこのような交流行事がしたい」と感想があり、楽しまれたようでした。

その他にも、「BBQがしたい!」「カラオケに行きたい!」「温泉に行きたい!」など、たくさんの希望が寄せられています。「楽しい事をたくさんしたい」との要望に応え、一緒に楽しみたいと考えております。

## やまと

## 活動の報告

春のおとずれを感じる暖かい季節となってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

やまとでは、生協ひろしま様から助成金をいただき、カットネギ機を購入しました。このカットネギ機は以前から使っていたものよりもカットスピードがとても速く、作業を効率良く行えるようになり大変重宝しております。特に祝日の前日にはカットネギの注文が多く、これまでのカットネギ機ですと1日がかりの作業でしたが、新しいカットネギ機では、半日もかかりません。担当職員からも大変助かっていると報告がありました。



これからもメンテナンスなどをしっかり行い、大切に使用させていただきます。生協ひろしま様ありがとうございました。

今年度もよりよい支援が行えますよう、やまと職員一同努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 地域生活支援センターるり

## 一般社団法人生命保険協会広島県協会様から寄贈いただきました

やわらかな春風にこころ華やぐ季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

地域生活支援センターるりでは、昨年12月、一般社団法人生命保険協会広島県協会様から物品の寄贈をいただきました。いただいたのは、下の写真にあるタイルカーペット・コードレス電話機・ドキュメントスキャナ・ケアスロープです。



カーペットも電話機も長年使っていて不具合が出てきていたものを交換でき、大変助かりました。また、スキャナは、『訪問先で書類を預かって事業所に帰ってコピーを取ってお返しする』という手間を省くことができ、業務の効率化にとっても役立っています。スロープは、必要な利用者の方に使っていただくことができ、嬉しく思っています。お贈りいただいた物品の原資は、広島県内の民間生命保険会社の社員様(営業社員様等)からの募金によるものです。協会の皆様方の温かいご支援に、改めて心より厚く御礼申し上げます。

カーペットが変わり、雰囲気も少し新鮮な感じに変わったので、最近来られていない方は、ぜひ見に来てみてくださいね。花冷えの季節ですので、体には十分お気をつけください。